

SMBCグループの東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組



次世代のアスリート育成支援



2015年に大会協賛を開始して以降、SMBCグループとして、オリンピック・パラリンピックを通じた次世代支援の取組を行っています。

その一環として、三井住友銀行が協力して開催された、日本オリンピック委員会主催の「オリンピックコンサート2020プレミアムサウンドシリーズ」の売上金を用いて、各開催地における次世代のアスリート育成関連7団体に寄付しました。

寄付金は、大会や合宿費用、各競技の用具・備品の購入、指導者招へい費用、および新型コロナウイルス感染症予防のための物資の購入等に使用されています。

これからも、東京2020大会以降の未来を担う次世代アスリートの育成支援活動を、継続して行っていきます。

東京2020大会に向けたパラリンピックスポーツ支援



SMBCグループには、2021年7月現在、20名のパラアスリートが所属しています。これまで子ども向けのスポーツ体験会への参加や、新入社員向け研修会への登壇等を通じて、社内外でのパラリンピックスポーツの認知向上・共生社会のさらなる実現に向けた活動に取り組んできました。

東京2020パラリンピックが1年延期となった2020年4月以降も、横浜市で開催されたオンラインイベントにアスリートが登壇する等、自治体やパラアスリートと連携しながら、パラリンピックスポーツ支援に関わる取組を継続しています。

SMBCグループは、今後も東京2020パラリンピックを契機とした、パラリンピックスポーツのさらなる普及に貢献してまいります。

三井住友フィナンシャルグループは、東京2020ゴールドパートナー（銀行）です。